

優先度	
A	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性が高く、令和7年度に実施する事業・・・（採択）
AB	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性は高いが、必要性や緊急度等を精査の結果、他の優先度Aの事業に比べると令和7年度に実施する必要性が低いと考えられる事業（令和8年度以降に実施）・・・（実施年度を先送りした採択）
B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性はあるが、令和7年度に実施する必要性が低いと考えられる事業・・・（次期実施計画で再検討）
C	事業の必要性が低い、若しくはないと考えられる事業・・・（不採択）

◆優先度別事業数及び査定事業費（第3回査定）◆

（一般会計）

優先度	事業数	第3回査定事業費			合計
		一般財源 【うち特別会計等への繰出金等】	地方債 （市債）	その他 （補助金等）	
A	147	10億7,478万円 【1億2,863万円】	31億8,110万円	11億396万円	53億5,984万円
AB	13	—	—	—	1億1,327万円
B	2	—	—	—	1,732万円
C	3	—	—	—	175万円

※金額の端数は四捨五入
 ※A以外は要求事業費で計算
 ※事業No.45,47の優先度を「—」としているため、事業数の合計が表3と異なります。
 ※令和7年2月5日の変更分を更新したものです。

（特別会計等）

優先度	事業数	第3回査定事業費			合計
		一般財源 【うち一般会計からの繰入金等】	地方債 （市債）	その他 （受益者負担等）	
A	22	1億2,863万円 【1億2,863万円】	10億630万円	5億7,888万円	17億1,381万円
AB	5	—	—	—	8,880万円
B	0	—	—	—	0円
C	0	—	—	—	0円

※金額の端数は四捨五入
 ※A以外は要求事業費で計算
 ※事業No.7の優先度を「—」としているため、事業数の合計が表4と異なります。